

大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会大連事務所
中国 116001 遼寧省大連市中山区人民路15号
国際金融大廈13層C

No.28 平成28年9月30日発行

目次

主な事業内容	1
事務所トピックス	1
中国現地情報	3
編集後記	4

問合せ先

TEL:86-411-8250-7426

FAX:86-411-8250-7439

E-mail:gb-dalian@miyagi-dalian.com

URL:http://miyagi-dalian.com

主な事業内容

6月から8月までに実施した主な事業を紹介します。

＝ 6月 ＝

○「Visit Japan Salon」出展(上海)

＝ 7月 ＝

○「2016 青島商談会ミッション」参加(青島)

○「ANA 大連空港七イベント」開催(大連)

＝ 8月 ＝

○「JAL 大連空港七イベント」開催(大連)

○「大連久光日本観光展」参加(大連)

○「JR 東日本、CA 提携 旅行商品説明会」参加(北京)

○「日中(吉林省)高齢者産業交流会」参加(長春)

また、上記のほか次のような活動を行いました。

- 中国現地企業や関係機関等の訪問及び来所対応
- 県内企業・団体・機関のニーズ調査や情報収集提供
- 観光誘客のための資料翻訳や内容確認等の支援
- 労務関係等セミナー参加

事務所トピックス

事業内容からトピックを5つ紹介します。

「2016 青島商談会ミッション」参加

7月12日から15日までの4日間、「第5回中国青島-日本東北企業商談会」の開催を中心とした、「2016 中国青島商談会ミッション」(東経連ビジネスセンター及び中国国際貿易促進委員会青島市分会主催)にオブザーバーとして参加しました。

このミッションには、宮城、秋田、福島各県から食品加工、機械製造、資材製造の企業10社が参加し、13日は中国現地企業40社と商談が行われました。

はじめに、日本側参加企業から企業紹介のプレゼンが行われ、引き続き各社とも新たな調達先確保や販路拡大に向け、積極的に商談を行いました。

また、期間中には、青島市内の食品加工や機械製造の企業4社を訪問し、工場見学のほか自社製品のPRができたことで、日本側参加企業からは大変貴重な経験ができたといった声が聞かれました。



商談会会場の様子

青島市をはじめとする山東省は農林水産業が盛んであるとともに、電機・機械関連等の現地企業が集積していることから、既に外資系・日系企業が数多く進出しています。当事務所では、定期的に青島で商談会ミッションを実施する東経連と連携しながら、この地域へのビジネス参入を図ろうとする宮城県企業のニーズに引き続き対応していきたいと考えています。

「大連空港七イベント」開催

7月5、6日はANAと、8月6、7日はJALとの共催で、大連空港での七イベントを同空港国際線チェックインカウンター前で開催しました。

イベントでは、チェックインカウンターを七夕飾りで装飾したほか、事務所職員がカウンター前に並ぶ成田及び関西空港に向かう搭乗者に観光PRティッシュや観光パンフレットを配り、日本最大の七夕まつりが開催される仙

台をはじめとした宮城の観光地を PR しました。また、航空会社スタッフからは搭乗者一人一人にうちわや短冊が配られ、願い事が書かれた短冊は笹の木に結わえ付けられていました。

これらの短冊は栃木県の足利織姫神社(ANA)及び仙台の大崎八幡神社(JAL)に、それぞれ奉納されることになっています。



七夕飾りで装飾されたカウンター

イベントを開催した両日も夏休み中であったことから、日本に向かう中国人旅行者でカウンター前は賑わっており、次回の訪日旅行では東京や大阪からさらに東北宮城に足を延ばす中国人旅行者が増えてくれることを期待したいと思います。



願い事の短冊を付ける搭乗者親子

「大連久光 日本観光展」参加

8月13、14の両日、大連駅前にある大連久光百貨店1階特設会場で開催された「第2回日本観光展」(JNTO北京、大連領事事務所主催)に参加しました。

会場では、JNTO北京が日本各地の観光パンフレットを配架し訪日旅行のPRをしたほか、在大連の自治体事務所や北海道など地方自治体6か所がブースを出展し、それぞれの地域の観光物産をPRしました。



七夕飾りなどで装飾された会場

なお、今年是在中国の東北各県事務所が都合により出展できなかったことから、岩手、福島、山形の三県と、中国に事務所が無い青森県、秋田県にも声を掛けて、当事務所が宮城県ほか東北各県の観光パンフレットを配架し東北ブースとして各県の観光物産をPRしました。海外からの訪日旅行者が一県のみを訪問に留まることは考えにくいことから、今後もこのような機会には、宮城県の観光ポイントのほかに周辺地域も広域でPRしていければと考えています。



日本文化紹介イベントの様子

さらに、今年には観光展に隣接するホールで、餅つき大会ほか茶道や華道といった日本文化を紹介するイベントが開催されました。イベント参加者が観光展ブースに自然と足を運んでくれたこともあり、2日間で昨年の約4倍となる1万1千人の来場者で賑わいました。

「JR東日本、CA提携 旅行商品説明会」参加

8月4日(木)、北京市内で開催された、JR東日本と中国国際航空とが提携して造成された旅行商品説明会に参加しました。

この旅行商品は「仙台東京鉄道自由行」という個人やグループを対象とした、いわゆるFIT(海外個人旅行)

向けのもので、北京又は上海発着で往路復路いずれかに中国国際航空の上海経由仙台便を利用し、新幹線で東京仙台間を移動していただくものです。宿泊は東京か仙台 1泊をベースにしたもので料金は、2,450 元からと大変お得になっています。(～2016 年 12 月末日の利用まで)



説明会に参加した北京市内の旅行社

中国からの訪日旅行者は、個人旅行者が増え、旅行目的も買物から体験を求める傾向が強くなっているため、このようなオーダーメイド型の旅行商品を活用してそれぞれの興味関心に合った日本の体験をして欲しいと期待しています。

仙台酒店	酒店+新干線 (元)	往返机票 (元)	商业打包价格的
绿色爱博酒店 (Hotel Green Arbor)	700		2250
绿色标志酒店 (Hotel Green Mark)	740	1550	2290
篝火之岛绿水亭	1240		2790
新水戸閣(白梅亭)	1380		2930

旅行商品の案内パンフレット

「日中(吉林省)高齢者産業交流会」参加

8月19日(金)、長春市内で開催された「日中(吉林省)高齢者産業交流会」(ジェットロ大連主催)にオブザーバーとして参加しました。

今回で 17 回目の開催となった本交流会(ジェットロ主催)は、中国における高齢者産業の需要拡大に伴い、毎年開催する都市が増え、これまでに延べ 278 社、2,500 人が参加しました。そして、今回が初開催となった長春市内の会場には、介護・福祉サービス事業者及び

福祉機器・用品メーカー等の日系企業 16 社が参加し、吉林省内の現地企業と商談が行われました。



交流会冒頭に行われた講演会

吉林省では、人口 2,750 万人(2014 年末)に対して高齢者数が既に 469 万人と高齢化率が 17.1%に達し、高齢者福祉対策が省として喫緊の課題となっており、その対応が急がれています。

一方、中国政府としても、全国的に急速な高齢化が進む中、外資に対する優遇措置を含め高齢者産業の発展促進に向けた様々な政策を打ち出すとともに制度構築が進められています。そのため、高齢化社会の先進国である日本における介護サービスや福祉機器・用品に対する関心が高く、日系企業による中国での事業展開に多くの期待が寄せられています。

中国現地情報

「第 21 回大連国際モーターショー」開催

8月17～21日の5日間、「第 21 回大連国際モーターショー」が大連市内の世界博覧会場で開催されました。



会場前で賑わう来場者

今回のモーターショーには、12 か国 100 社以上のメーカーが参加し、会場内には 1,360 台の自動車が展示され、延べ 32 万人の来場者で賑わいました。

中国政府による電気自動車やプラグインハイブリッド車などの省エネルギー車やコンパクトカーに対する税優遇政策を背景に、例年以上にコンパクトカーの展示が多かったように感じました。省エネルギー車については、まだまだ見かけることは少ないですが、今後充電設備の整備が進めばさらに需要が増えることが期待されます。



コンパクトカーの展示コーナー

一方で、これまではセダントップの車が中心でしたが、レジャーを楽しむ中国人の生活様式の変化に伴い、SUV 車も多数展示されていたのが特徴として挙げられます。

なお、中国のモーターショーでは展示とともに会場の内外で販売が行われ、期間中、計 1 万 156 台の販売契約が交わされたと地元紙が伝えていました。

編集後記

中秋節は一家団欒で

中秋節は、旧暦の 8 月 15 日(新暦 9 月 15 日)のことを言い、春節、清明節、端午節と並び「中国の四大伝統祝日」と呼ばれています。また、この日は一家団欒で月見しながら月餅(げっぺい)を食べるのが習慣となっています。

中秋節の起源は、3,000年以上前の周の時代に遡ります。古人は大自然を崇拝していたため、「天子」は民を代表して、春分の日に「祭日」、夏至の日「祭地」、秋分の日「祭月」、冬至の日「祭天」を行っていました。しかし、秋分の日は毎年変わりその日に月があるかどうか分からないため、「祭月」の期日は必ず満月になる8月

15日に変更されたのです。そして8月は秋(7、8、9月)のちょうど中間に当たるので、「中秋節」と呼ばれるようになりました。

中秋節については、ウサギの薬作り、嫦娥(中国神話に登場する「じょうが」)が月に奔(はし)るなど有名な神話がたくさんあります。それらをもとに、いろいろな風俗や習慣が生まれ、各地方では年配者から若者に代々受け継がれています。各地方の風俗も違い月餅もそれぞれ特色があり、使う餡(あん)や風味は200種類以上もあると言われています。例えば「蘇式月餅」は皮が幾重にもなりサクサクとしていて、「広式月餅」は皮が薄く餡は甘くてとても柔らかいです。また伝統的な月餅と違い「氷皮月餅」も人気があります。伝統的な月餅の皮は黄色ですが、「氷皮月餅」の皮は餅米で作られているので白く見えます。

最近では仕事の都合などで故郷を離れて1人で生活する若者が増えましたが、伝統を重んじ中秋節には必ず故郷に帰って家族と一緒に過ごす人も多く、このように伝統を守ることは大切なことだと思います。(FH)

【みやぎフォトライブラリーから】

【やまびこ吊り橋】



【写真提供:宮城県観光課】

全長 120m 幅員2mの日本有数の歩道吊橋

アクセス:白石駅からバス約 1 時間